

**名月や 杉に更けたる 東大寺**  
(夏目漱石)

久 が 原 地 区 内	人口	男	13,110人
		女	13,572人
		計	26,682人
		世帯	12,259世帯

平成23年9月1日現在

# くがはら



発行：地域力推進

久が原地区委員会

編集：地域情報紙「くがはら」

編集委員会

事務局：大田区久が原特別出張所

〒146-0085 大田区久が原4-12-10

TEL (3752) 4271

FAX (3752) 44514

題字：三木 兼吉

被災地ボランティアに参加して

久が原特別出張所長

津本 卓也



**東日本大震災特集**

**応援します!**

東日本大震災で被災された皆様に  
心よりお見舞い申し上げます。

現在大田区では、震災直後に宮城県を通じて支援要請のあつた東松島市へ職員の派遣や区民ボランティア活動の支援に取組んでいます。私は

区と区民協働組織が立ち上げた被災地ボランティア調整セ

ンターの募集で現地の旅館を宿泊所に数日間、市内の被災現地での作業にあたってきました。この活動で被災地の惨状をテレビ新聞等で見てはいましたが、実際に被災地に降り立ち、そこに広がる想像を超える津波被害に言葉がでま

せんでした。私たちの作業地

域は、自衛隊や警察消防の捜索活動場所から少し離れ、津波によつて一階部分は海水がかぶつたものの二階は被害を免れた地域でした。六、七人

月十九日より四日間、大田区

支援ボランティア活動をしてきました。震災後三ヶ月が過ぎた現地では、津波で道路脇へ流されてしまつた船や、海の中から屋根だけ見え隠れす

を一班とした四班で編成された大田チームが班ごとサテライトと呼ばれる現地指揮所で被災者を望を受け被災家屋へ向い、家の中に入つたヘドロのかき出しや泥まみれの家具、畳等の搬出清掃等を行ない一日も早く住める状態にする作業でした。

今回、このボランティアに回を重ね参加することで、この大震災の復興プロセスが自

然と体で体験できました。

合わせて、震災後間もない頃

は「そのうち帰つてしまふ人たち」という目から、今では

活動が継続され「信頼できる

大田区民」へと地元被災地の

目が変わつてきました。確かに紺が被災地東松島市の人たちと出来てきました。震災直後はつながりの継続、そしていつも関心を持ち、被災地に行けていきたいと思います。

（自分も元気！）になることを

なくとも東北の品やお酒などを買ひ、飲むことで東北が元気

で、主に周囲にお住まいの方にご利用いただいている。

久が原図書館は久原小学校と八幡神社の間の坂を下つた左手にあります。昭和五十九年に開館。蔵書数約七万冊、区立十六館の中ではほぼ真んくらいの規模です。

落ち着いた雰囲気の図書館で、お子様連れのお母さんで賑っていますし、多目的室はサポートを一堂に集めたポスター

で展示了も行います。

パソコンからも全十六館の蔵書検索や予約ができるなど利用の形は変わつてきましたが、やはり直接来て見て本に触つて選んでいただくのが図書館の一番の魅力ではないでしょうか。

久が原図書館をもっと身近に感じていただき、沢山利用していくだければと館員一同お待ち申し上げております。

どうぞお気軽に立ち寄りください。

（連絡先）

大田区久が原二一二十八一四

電話 三七五三一三三四三

日替わりで、例えば「リサ

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

## イベント情報

- 久が原福祉園きらら祭  
【日時】10月1日（土）10：30～15：00  
【場所】久が原福祉園
- 雪谷文化センターまつり  
【日時】10月8日（土）～9日（日）  
【場所】雪谷文化センター
- ふれあい久が原大運動会  
【日時】10月16日（日）9：30～15：00  
【場所】松仙小学校校庭
- 久が原東自治会防災訓練  
【日時】10月23日（日）9：30～  
【場所】久原小学校校庭
- 久が原地区自治会連合会研修旅行  
【日時】11月9日（水）～10日（木）  
【場所】磯部温泉
- 道々橋自治会防災訓練  
【日時】11月13日（日）9：30～12：00  
【場所】道々橋八幡神社境内
- 久が原西自治会防災訓練  
【日時】11月20日（日）9：30～12：00  
【場所】松仙小学校校庭
- 久が原南自治会懇親会バス旅行  
【日時】11月7日（月）  
【場所】千葉ホキ美術館
- 久が原南自治会クラブまつり  
【日時】12月4日（日）  
【場所】久が原クラブ・久が原南台公園
- ◇問合せ先 (3752) 4271  
久が原特別出張所



### 久が原の語り部 (東自治会版)

苗字が無かつた時代、村内などでは各家の識別ができる、お互いを呼ぶときは各家の特徴を表す言葉の「屋号」で呼んでいたようです。最近でこそあまり聞かれなくなりましたが、久が原地区でもこ



の屋号が今でも残っていて、昔からお住まいの方々は屋号でお互いを呼んでいる方が多かったです。また、秋はスポーツにも最適の季節。からつとした秋晴れの日には、外に出て、思い切り体を動かしてみるのもよいでしょう。

★繁殖の可能性へ  
外来魚のアリゲーターが  
は成長すると三メートルを超える。  
呑川にもいるアユはもちろん、あらゆる魚、カモ類等も捕食される危険性がある。  
そのアリゲーターが、メス一匹を含めた三匹が現れるようになり、事態は急変した。繁殖して増えれば、呑川の生きものは打撃的な被害を受ける可能性がある。

★捕獲への行動  
危険な事態を直視した「呑川の会」は「呑川ネット」と共にガードの捕獲を大田区に要請し

**さわやか健康講座⑨**  
**さわやかサポート久が原**  
TEL 5700-15861

**轟の秋は「たくわえの秋」**

食欲の秋は「たくわえの秋」

TEL 5700-15861

こうして大繁殖の可能性は回避されたが、いつまた現れるか判らない。長引く不況や今回の大地震で水槽が壊れペットの魚を手放す人は増えている。命あふれる呑川を維持す

★久原小呑川学習でも発見  
昨年蒲田付近で久しぶりにアリゲーターが発見された。しかも連日現れるようになり、久原小の「呑川学習」でウォーキングした時も、子どもたちみんながその大きさに驚いた。優に一メートルを超える大魚だったからである。

魚や大魚を釣ることを趣味にした青年三名が現れ、昨年七月に三匹とも捕獲に成功した。アリゲーターと内臓物は、すぐに琵琶湖博物館の中井博士に送られた。

★研究・調査へ  
捕獲したガードと内臓物は、士に送られた。卵巣と精巣は成熟して、産卵直前についたことが判明した。

こうして大繁殖の可能性は回避されたが、いつまた現れるか判らない。長引く不況や今回の大地震で水槽が壊れペットの魚を手放す人は増えている。命あふれる呑川を維持す

るためにも外来魚の監視は怠ることが出来ない。

久原小の夏ドキに今年も新たな講座が開設されました！英語で聽こうイギリスの童話一講師は久が原二丁目にお住まいの奥田裕子さんです。元々英語がお得意だった奥田さんは商社勤務後、結婚を機に退社されました。子育て中にも絵本を原語で読まれ

ます。エネルギーが不足する

と、もっと食べるよう指令

する摂食中枢と、満足したの

で食べるのをやめるよう指令

する満腹中枢があり、二つの

食欲中枢がバランスを保ちな

がら食欲を調節しています。

満腹中枢のについ食べ過ぎてし

まう原因としては、この食欲

中枢の乱れが挙げられます。

満腹中枢が正しく作用するよ

うな習慣を身に付けることが

大切です。TVを見ながらの

『ながら食い』はやめ、先に

お茶や汁物、酢の物や煮物な

どを食べてお腹を落ち着かせ

るような食事方法も取り入れ

ましよう。

また、秋はスポーツにも最

適の季節。からつとした秋晴

れの日には、外に出て、思い

切り体を動かしてみるのもよ

いでしょう。

また、秋はスポーツにも最

適の季節。からつとした秋晴

れの日には、外に出て、思い

切り体を動かしてみるのもよ

いでしょう。